

## 全国の高校で「骨髄バンクドナー登録会」の実現を！

### 骨髄バンクドナー登録者数の増加に向けて

#### 骨髄バンクとは

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病などの病気で正常な造血ができなくなった方と健康な方の造血幹細胞とを入れ替えることで機能を回復させる治療法です。日本では「骨髄バンク事業」が1992年から開始されています。

#### 骨髄移植の問題点

- ・ヒト白血球抗原(HLA)には多くの型があり、型が合致しないと移植できない  
適合率は兄弟姉妹でも4人に1人、血縁関係がないと数百人から数万人に1人とされている
- ・ドナーに年齢制限がある(18歳以上54歳以下)⇒毎年2万人が登録外になっている
- ・10代、20代の登録者が少ない

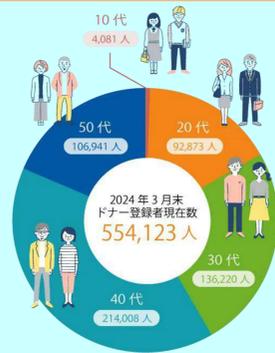
### 登録者数増には若い世代の力が必要

本校では約10%の生徒が毎年登録しているので、このデータに基づいて計算すると…

2024年3月卒業予定の全国の高校生106万1279人  
この10%が登録すると…約100万人×10%=10万人

もし全国の高校で骨髄バンク登録会が行われたら、登録外になる人を差し引いても…

毎年、登録者が約8万人増えていく



## 42年目 卒業記念献血

第3学年を対象に、1982年から「卒業記念献血」を41年間実施。多い年には200人を超える希望者が献血に協力する。



## 12年目 骨髄バンクドナー登録会

卒業記念献血と併せて2012年から11年間実施しているのが「骨髄バンクドナー登録会」である。



### 骨髄バンクドナー登録会説明員養成研修

実地研修(広島県2023年8月)



公益財団法人「日本骨髄バンク」地区普及広報委員 広畑紀子さんを講師に迎え、第2回説明員養成研修会を本校で実施しました。今回は、ユネスコ部員10名が受講しました。私たちが先輩方のような、安心感を与えられる説明員を目指し、「日本骨髄バンク説明員」の資格を取得しました。印象に残った言葉は、『説明員の活動は勧誘ではない。ドナーの自発的な意思を尊重する。登録を強く勧めたり、依頼するような言動をしてはならない。』でした。ドナー登録者から信頼される説明員を目指したいと考えてようになりました。

# 全国初！ 骨髄バンクドナー登録会 自校開催！

## 新しい伝統のはじまり 人に寄り添い 命のバトンをつなぐ活動

2024年1月17日(水)に第42回卒業記念献血、第12回骨髄バンクドナー登録会が行われました。今年は「呼びかけるだけでなく、さらに、もう一歩先、何かできないだろうか」と考え、「公益財団法人日本骨髄バンク 説明員」の資格を取得し、初めて同級生たちに対する登録の呼び掛けや説明を行いました。自校で開催される献血において、高校生が骨髄バンクドナー登録について説明を行うのは、全国でも初めてではないかと言っていたが、踏み出した一歩は大きな一歩になるのではないかと期待しています。



### 全国に届け！

多くのメディアに取り上げていただくことで、一人でも多くの方に私たちの想いを伝えたいです。

全国の高校生が、私たちの取り組みについて興味を持ったり、共感してもらったりして、「骨髄バンク説明員の輪」が広まっていききっかけになることを願いつつ、これからも私たちにできる活動を継続していきます。



## ドナー登録者『300万人』の未来のために

### 実際のドナー登録会場で 高校生が活躍！

相手の立場に立ち、すべての人に寄り添える骨髄バンクドナー登録説明員として実績を積み重ねます。

### 第3回説明員養成研修 広がる私たちの想い！

今年も4名の1年生が説明員の取得を目指して研修しています。説明員の輪を全国に広げたい！

### 骨髄バンクドナー登録会を 自主開催！

高校生が企画・運営する骨髄バンクドナー登録会を校外で開催したいです。



### 活動団体プロフィール 【おかやま山陽高等学校】

～献血・骨髄バンクチーム～

普通科進学コースの生徒15名が『全国の高校で骨髄バンクドナー登録会の実現を』の達成を目指して、積極的な啓発活動を行っています。

「私たちにできる、もう一歩先の啓発活動」を合言葉に、「骨髄バンク説明員」の資格を取得し、活動の幅を広げて登録会場で活躍しています。

